

# 社会福祉法人等の公益的事業の検討について 「美作お助け隊」へ視察研修に行きました

【視察の様子】



美作市社協職員からの事業説明



美作お助け隊役員のみなさまとの意見交換

令和元年11月26日（火）に瀬戸内市で福祉施設等を運営している社会福祉法人13法人の役職員16名（うち本会役職員5名）が、美作お助け隊（事務局美作市社会福祉協議会）に視察研修をいたしました。

今回の視察研修の目的は、社会福祉法人等が連携、協働した地域福祉活動を先駆的に行っている美作お助け隊の「実践的な取り組み」「地域の潜在的な福祉ニーズの掘り起こし方法」等を学ぶことでした。

美作市では、平成29年6月に美作お助け隊が設立され、「カツ弁配達事業」「お家さわやか事業」「わーく・わーく事業」等の特色ある事業に取り組まれています。

研修会では、美作市社会福祉協議会の担当者から「美作お助け隊の事業概要」「社会福祉法人等が地域における公益的な取り組みを実践する意義」を丁寧にご説明いただいた後、美作お助け隊の役員のみなさまとの意見交換の場を設けていただきました。

今回、参加した瀬戸内市の社会福祉法人の役職員のみなさまからは、「非常に参考になった」「有意義な意見交換ができた」等の感想をいただきました。

今後、本市に拠点のある社会福祉法人等が連携、協働した「地域における公益的な取り組み」を考える機会となりました。